

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千里津雲台A分譲住宅マンション	階数	地上10F,地下1F
建設地	大阪府吹田市津雲台3丁目	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第22	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年2月27日
敷地面積	7,257 m ²	作成者	森井 良一
建築面積	2,268 m ²	確認日	2018年2月28日
延床面積	16,344 m ²	確認者	山口 隆幸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>本計画は、古くから続くなだらかな起伏とニュータウンの歴史が創り出したゆたかな緑の大地に新たな風景を創る計画である。 歴史ある津雲台という風景を創るにふさわしい建物とする。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>全面的にF☆☆☆建材を使用することで空気環境の向上を図り、さらに、昼光を積極的に取り入れることで、室内の快適性が向上するよう努める。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用性を向上させることで、建物の信頼性を確保すると同時に、サステイナブルな建築物となるよう努める。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内緑化を積極的に行うことで、自然環境に配慮した計画とする。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>住宅性能表示における省エネルギー対策等級4を取得する。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型衛生器具を採用し水資源保護に努める。またリサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減を図る。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害対策ガイドラインを用いることで、良い照明環境を得られるよう努める。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0155

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)千里津雲台A分譲住宅マンション建替事業					
		建設地	大阪府吹田市津雲台3丁目20番70					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	1.0	3		
				住戸・宿泊	4.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					2.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					3.1	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								